

JACS 論文プロポーザル賞最優秀賞受賞報告

第 8 期大学院生 窪田 和基
(第 6 期 OB)

◆JACS 論文プロポーザル賞とは...?

日本消費者行動研究学会が主催している研究構想コンテストにて、優秀な成績を収めることによって授与されるのが、「JACS 論文プロポーザル賞」です。当コンテストは、若手研究者を対象としており、また、完成した研究ではなく、これから行う研究の構想を発表（プロポーズ）するという特徴があります。11 月の日本消費者行動研究学会コンファレンスにて発表を行い、その発表の審査結果と、発表に先立って提出した論文の審査結果によって、最優秀賞受賞者 1 人と優秀賞受賞者 2 人が決定します。ただし、年によっては、受賞者が出ないこともあるため、非常にシビアなコンテストです。また、昨年度、7 期大学院生である千葉貴宏さんが最優秀賞を受賞しているため、小野ゼミとしては、2 連覇が掛かったコンテストでもありました。今年度は、私が挑戦させていただき、最優秀賞いただくことができました。

◆執筆論文の概要

広告に起用される人物はエンドーサと呼ばれています。有名人と非有名人のどちらをエンドーサとして起用した広告の方が、広告態度の水準が高いのでしょうか？この問いに対する回答は、既存研究間で矛盾しており、ある研究者は、有名人を起用した方が広告態度の水準が高まると主張しているのに対し、別の研究者は、非有名人を起用した方が広告態度の水準が高まると主張しています。本プロポーザルでは、エンドーサの種類を整序することによって、この矛盾が解消可能であることを示す仮説を提唱しました。

◆執筆後記

振り返ると、浮かんでくる言葉は「感謝」だけです。論文とパワーポイントを作成しなければならなかったのですが、遅筆の私は、締切ギリギリまで作成作業に追われていました。特にパワポは、小野先生に、発表前日から当日の早朝まで徹夜でご指導をいただきました。しかし、その分、最優秀賞の授与が決定した時には、喜びもひとしおでした。ご指導、本当にありがとうございました。また、わざわざ大阪まで応援に来てくれた千葉さん・菊盛さん、ありがとうございました。



関西大学にて発表する著者